

第7回 鎌倉市本庁舎等整備委員会開催結果

1 開催方法

書面開催（令和2年11月2日開催通知、令和2年11月2日～令和2年11月24日意見提出期間）

2 意見提出

提出あり 10人（川口 和英 委員、国吉 直行 委員、関根 正人 委員、
増井 玲子 委員、酒井 太郎 委員、大島 智 委員、
後藤 和幸 委員、田子 祐司 委員、西野 奈津子 委員、
森安 啓司 委員）

提出なし 0人

3 次第

(1) 先行議題

委員長・副委員長の選任について

(2) 報告

ア 深沢地域整備事業について

イ 執務環境等調査について

(3) 議題

ア 新庁舎等整備基本計画・現庁舎跡地利活用基本構想の策定に関する論点整理について

イ 今後の進め方について

4 先行議題（委員長・副委員長の選任について）…資料1、2

【審議結果】

賛成 10人 ・ 反対 0人

【委員意見】

特になし

【事務局から】

事前に各委員から推薦いただいた委員長、副委員長の各候補者について、了承をいただき、国吉委員が委員長、川口委員が副委員長に選任されました。

5 報告

(1) 深沢地域整備事業について…資料3

【委員意見】

No.	意見の内容
1	・アフターコロナ時代も見据えた深沢地区の意欲的な計画像を示して欲しいです。新庁舎はその構想と連携して行くべきと考えます。その議論、検討が遅れるのであれば、新庁舎側から地区の計画へ提案するのも一つの方法と考えます。
2	・シンボル道路東側部分の将来的なトランジットモール化は、アイデアとしてとても

	<p>良いと思います。一方、いわゆるヨーロッパ（ストラスブール等）のトランジットモールの場合は、車を排除した、LRT*のターミナルのイメージがあります。湘南深沢駅からの歩行者のアクセスを考えると、駅前広場、公園とトランジットモールの関係性が大事になりそうであり、名ばかりのトランジットモールとならないように、計画されていくと良いと考えます。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・深沢地域整備事業エリアの魅力・価値を高めるためにも、深沢地区と新庁舎の一体的な整備が重要になると考えます。また、エリア内で最初に竣工する可能性がある新庁舎は、深沢地区のコンセプトを象徴する存在ともなると考えます。これまで同時並行で検討してきた経緯は理解しますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で設定しづらいかもしれませんが、一度どこかで深沢地域整備事業の検討委員会と情報共有、意見交換する機会があると良いと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・県道腰越大船線と市道大船西鎌倉線の通行車両の渋滞対応を検討する必要があるのではないかと考えます。 ・湘南深沢駅の乗降客が、現在、道路東側へ横断歩道で渡っていますが、安全対策を含めて駅から道路東側への歩道橋の設置等の検討が必要ではないかと考えます。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の関心の高い、交通の便や災害時の役割についての記載をもう少し増やした方が良いと考えます。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地南東側については、立地を活かした利用（医療系大学、施設の誘致など）をした方が良いと考えます。健康・ウェルネスや税収の視点で見ても良いのではないかと考えます。 ・新庁舎についても上部利用等を行い、コスト削減を考えた方が良いのではないかと考えます。 ・ウォークラブルなまちというのは、災害時にテントを張って対応できるスペースがあるなど、よい点があると考えます。

※LRT（Light Rail Transit）：低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システム（国土交通省 HP より）

(2) 執務環境等調査について…資料4

【委員意見】

No.	意見の内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響が長引いており、ウィズコロナ、アフターコロナへの配慮が、半年前より高まってきています。RPA*については、益々ニーズが高まっており、書類決済の時間短縮、窓口改善、ひいては ICT による 24 時間対応への移行などに従い、新しい時代への機能対応は重要だと考えます。 ・働き方改革、リモートワーク等の新たな課題への対応として、ICT 機器、端末への速やかな機能対応、パーソナルスペース確保に対応できるフレキシブルさが必要になってきており、ぜひ最新の対応事例なども確認しながら、検討を進めていけると良いと考えます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・調査で得られた知見の具体的な内容等、調査結果を見たいと思います。働き方が変化し、将来、オフィス空間のあり方は変わると考えています。一方、作業する空間

	(個別・シェア)、打ち合わせ・集会のための空間(大きめの空間)が一定程度必要になるのは変わらないはず。コアな執務空間から共有可能な会議スペースまで、クローズなものからオープンなものまで、いくつかのレベルに分けることが出来ると思います。レベル分けして、コアを見据えることにより庁舎として市が整備・所有する範囲を精査する必要があると思います。また、他と共有できる空間・機能は、周辺の公共施設、民間施設と共有、または賃借しあい、コスト削減と需要変化に対応できるようにすると良いと思います。
3	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、変更になった点や変更を検討している事項を加えてはどうかと考えます。

※RPA (Robotic Process Automation) : これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。煩雑で定型的な事務業務が多い金融業界で先行して導入され、高い効果を発揮したことから業種を問わず多くの企業・団体に導入されつつあります。(総務省 HP より)

6 議題

- (1) 新庁舎等整備基本計画・現庁舎跡地利活用基本構想の策定に関する論点整理について…資料5、6

【審議結果】

賛成 10人 ・ 反対 0人

【委員意見】

項目	No.	意見の内容	事務局の考え方
本委員会における主な論点	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災面での新庁舎整備計画の優位性の確立と再確認を行い、市民合意を充実させる説明内容にした方が良いと考えます。 ・ アフターコロナ時代、IT 充実化時代の庁舎機能の変化に対する予測・検討の議論が必要だと考えます。 ・ 基本計画策定後に、アフターコロナ時代の社会像の変化、市民生活の変化なども予想されるため、基本設計策定時にこういった変化に柔軟に対応できる基本計画とすることが必要だと考えます。 	<p>基本構想では「本庁舎と消防本部や総合体育館の連携、隣接する公園・グラウンド(災害時におけるスペースの有効活用)の活用などを考慮した場合、現在地よりも深沢地域整備事業用地(行政施設用地)に本庁舎を整備する方が防災面で優位性があり、防災拠点として機能」するとした上で、「堅固な建物で災害時に頼れる本庁舎」とする基本方針を示しています。引き続き、市民への丁寧な説明等を行ってまいります。</p> <p>アフターコロナの時代</p>

			を見据えた新たな本庁舎に求められる機能、ICT環境等については、作業部会等の中で特に検討を進めるとともに、内容について本委員会に報告、検討素材として提供してまいります。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館、グラウンド、深沢地区の公共施設（図書館、市民スペースなど）の具体的計画の策定はどのように進むのか、市庁舎とのつながり・関係性について気になります。最近では、公園やグラウンドにも様々な展開の可能性がでてきています。 ・現庁舎跡地含め、個々の魅力や可能性を膨らませつつ、市全体の公共施設再編の観点や目標値との調整を忘れずに最終的にまとめることも重要だと思います。 ・「鎌倉らしさ」についても、また議論できると良いと思います。 	<p>基本構想で示した「交流・創造機能」（会議室、市民交流スペース等）については、基本計画において内容の具体化を図ってまいります。</p> <p>総合体育館、グラウンド、公園との関係性などについては、深沢地域整備事業の進捗に合わせ個別に具体的な計画が進むこととなりますが、本庁舎等の防災拠点機能やまちづくりの関係を考え、関係各課と調整を図りながら検討を進めてまいります。</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナについては、「AI・IoT・アフターコロナをふまえて、新しい価値観における庁舎のあり方、施設規模」とした方が、広い意味で捉えられるので良いのではないでしょか。 	アフターコロナの時代を見据えた新たな本庁舎に求められる機能、ICT環境等については、作業部会等の中で特に検討を進めるとともに、内容について本委員会に報告し、検討素材として提供してまいります。
目標と課題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により影響を受ける事項（執務スペース、個室ブース補強、窓ロスペース、ICT系への投資額増加）についての検討が必要と考えます。 ・新型コロナウイルス感染拡大により、ICT 	アフターコロナの時代を見据えた新たな本庁舎に求められる機能、職員の働き方、ICT環境等については、作業部会

	<p>対応、リモートワークなど、働き方の形が民間では急激に加速しています。都心の中心部のオフィスをたたむなども、この数か月で発生してきており、その動静は見過ごせなくなっています。公共については、どうしても遅れがちであるが、その波動は押し寄せてくると考えます。先を読みながら、市民、職員による使われ方の変化に対応したフレキシブルな空間構成は、益々重要になってくると考えます。</p>	<p>等の中で特に検討を進めるとともに、内容について本委員会に報告し、検討素材として提供してまいります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画でどのようなイメージ図を作成・公表する予定ですか。 ・事業手法については、複合的に検討されていると聞きましたので、期待しています。 	<p>基本計画では敷地内の建物配置やゾーニング、各フロアのブロックプラン等について整理して示したいと考えています。</p> <p>また、今後策定予定の深沢地区まちづくりガイドライン基本方針等を踏まえ、深沢地区のまちづくりに沿った外観のイメージについても整理してまいりたいと考えております。</p> <p>事業手法についても整理し、本委員会の検討材料として提供してまいります。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎跡地利活用について、以前あった鎌倉駅西口周辺整備計画（案）も踏まえて西口から現庁舎にかけての交通動線や機能等を総合的に検討すべきと考えます。商工会議所、観光協会、NPO センター、駐車場など、市民と鎌倉が好きな人の交流拠点的な場となると良いと考えます。 	<p>現庁舎跡地の利活用については、鎌倉市公的不動産利活用推進方針（H30.3）の利活用の基本方針で示した「市民サービスの提供・公共施設再編と民間機能の導入による賑わいや憩いの創出」の考え方を基本に、基本構想策定の検討を進めて行くことを考</p>

			えています。鎌倉駅周辺のまちづくりとの関係性については、今後整理をまいります。
	4	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大により鎌倉市でもロックダウンの様な事が実施され、本事業のスケジュールが大幅に遅れた場合には、予算を大きく超えても間に合わせるのかどうかなど、スケジュールと予算の関係などを確認したいです。 	<p>新型コロナウイルスの感染拡大や国の緊急事態宣言を受け、基本計画策定や全体のスケジュールの見直しを行いました。令和10年度の開庁を目指すことは変えておりません。しかしながら、今後、未曾有の事態が発生した場合には対応が必要と考えているとともに、市の財政面等を考慮しながら、引き続き検討を進めてまいります。</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な議論については、わかりやすい説明過程があると理解がしやすいと思います。 現庁舎の跡地についての基本理念・方針については特に重要な項目と思われるので、慎重に進めて欲しいと考えます。 	<p>資料作成等にあたっては、検討の過程がわかるよう工夫してまいります。</p>
新型コロナウイルスを踏まえた検討について	1	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響が長引いており、ウィズコロナ、アフターコロナへの配慮について触れていることは良いと思います。この問題への関心は建築分野でも高まってきており、施設規模への直結の前に、働き方改革、リモートワークへのフレキシブルな対応ができる空間構成などの検討が進んでいます。新型コロナウイルス感染拡大による影響を、これまで検討してきた施設規模に直接結びつけるのはやや疑問に感じていますので、事例調査を是非お願いします。 	<p>アフターコロナの時代を見据えた新たな本庁舎に求められる機能、執務空間、職員の働き方、ICT環境等については、作業部会等の中で特に検討を進めるとともに、内容について本委員会に報告し、検討素材として提供してまいります。</p> <p>施設規模についても、ウィズコロナ、アフターコ</p>

		<p>ロナを踏まえた検討を行い、事例等を提示してまいりたいと考えております。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> アフターコロナまたは新たに起こり得るパンデミックへの対応を踏まえた庁舎等のあり方については、まだ十分な知見がまとまっていないと思います。情報収集をよろしくお願いします。 	<p>新型コロナウイルス等の感染拡大防止を踏まえた執務空間や職員の働き方、業務継続等の考え方については、引き続き社会動向等を注視しながら情報収集を行い、本委員会へ提示をしてまいります。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言の中、子育て支援のつどい等が全くと言っていいほど中止になり、子育て中の保護者の心身のストレスは目に見えない形で大きくなり、それが虐待などに繋がっているという心配があります。子育てにおいて、不安材料の一つに「孤独感」があります。働き方と同じように、今後の子育て支援の在り方も意識しながら、現庁舎跡地の利活用を考えていきたいと思えます。 	<p>現庁舎跡地の利活用については、公的不動産利活用推進方針で「オープンスペースの活用により、市民や来訪者の憩いの場、子供から高齢者までの世代間交流等の場を整備」などのイメージを示していることから、子育て世代等の意見も聴取しながら検討を進めていきたいと考えております。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> 窓口サービスは、全ての申請手続きをオンライン化する前提で話を進めて欲しいと考えます。 職員の仕事分類を考慮し、必要なアナログワーキング、デジタル化したときの作業人員減やその逆で新しくできる仕事に対する人員の割り当てについての対応策を考慮・表現して議論していきたいと考えています。 	<p>申請手続きのオンライン化やDX（デジタル・トランスフォーメーション）*の推進を前提に、新たな本庁舎における職員の働き方や窓口サービスについて作業部会等の中で特に検討を進め、委員会に提示できるようにしてまいります。一方で、オンライン化やデジタル化への対</p>

		応が不慣れな方へ対応も合わせて検討し、委員会に提示してまいりたいと考えております。
--	--	---

※DX (Digital Transformation) : スウェーデンのウメオ大学教授が提唱したとされる「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念です。経済産業省のHPでは同省のデジタル・トランスフォーメーション(DX)として「これまでの、文書や手続きの単なる電子化から脱却。IT・デジタルの徹底活用で、手続きを圧倒的に簡単・便利にし国民と行政、双方の生産性を抜本的に向上します。また、データを活用し、よりニーズに最適化した政策を実現。仕事のやり方も、政策のあり方も、変革していきます。」と示しています。

(2) 今後の進め方について…資料5、7

【審議結果】

賛成 10人 ・ 反対 0人

【委員意見】

項目	No.	意見の内容	本市の考え方
市民対話の方針	1	<ul style="list-style-type: none"> 市民対話は一部の層だけでなく、幅広く、丁寧に対応していくことが良いと考えます。 鎌倉らしい市民活動、企業連携活動などの開拓と担い手づくりも合わせて進めて行くことが出来ると良いと思います。 	<p>御意見を踏まえながら、広く市民意見を聴取できるよう進めてまいります。</p> <p>今回の市民対話の手法は意見を聴取することと同時に、多くの市民に周知等を行うためのポスターを作ることを考えております。そこから、市民同士の意見交換や意見聴取が出来ればと考えております。</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> 市民の声を反映させていく場合において、今後、リモートと対面型の両方に対応するハイブリッド型のスペースも必要となってくる可能性があるということに配慮する必要があると考えます。単に対話のための物理的空間を確保するのとは違い、多目的な用途に対応できる融通性のあるスペースにしておくことが肝要だと考えます。 庁舎へのアプローチのしやすさは、現庁舎よりは不便とならざるをえないと考えます。庁 	<p>基本計画や基本構想への市民意見の反映にあたっては、御意見の視点にも配慮しながら進めてまいります。</p>

	<p>舎に行きたくなるようなスペース計画が必要と考えます。例えば、「アオーレ長岡」のナカドマは駅に隣接しており、一定の距離はあるが、解放感があり、居心地がよく、中高生、地元の人が集まっています。特に用事がなくても、寄りたくなるような場の形成が必要と考えます。</p>	
3	<p>・インターネットや SNS など利用した情報発信や意見収集の検討が必要と考えます。</p>	<p>本庁舎等整備事業の広報にあたっては、これまでもインターネットや SNS を利用した情報発信を行ってまいりました。まだ利用していない SNS もあることから、利用した場合の効果等について、現在、検討を行っているところです。御意見を踏まえながら、新たな情報発信や意見収集の方法等について、引き続き検討を行ってまいります。</p>
4	<p>・ワークショップ等で市民の意見をしっかりとれると良いと考えます。</p> <p>・各地域の意見を出してもらえると良いと考えます。(ふれあい懇談会の場を利用するなど)</p> <p>・30～40 代などこれからの世代の意見は違った意見になると思います。そういう意見も聞けると良いと考えます。若い人も自分の意見を言える場があれば、もっと意見・考え方を言えると思います。</p>	<p>御意見を踏まえながら、進めてまいります。</p>
5	<p>・ドキュメンタリー動画の作成は良い案だと思います。人は正しい、間違い以上に「感動」に対して動いていくものです。映像の力によって市民の方々の関心や理解も深まってくと思っています。SNSなどを上手に利用していくことも、コロナ禍だからこそかもしれません。</p>	<p>市民対話の実施結果の広報については、取組の内容を広く市民に御理解頂けるよう、引き続きその手法等について工夫してまいります。</p>

	6	<ul style="list-style-type: none"> ・10年～60年後の行動（生活）仮説を考慮して欲しいと考えます。 ・新庁舎：鎌倉のデジタルコンシェルジュ的機能（目につきにくい） ・現庁舎跡地：鎌倉のアナログつどいの広場的な機能（目につくシンボル）等 	開庁時やその先を見据えながら、新庁舎や現庁舎跡地に求められる機能や役割等について、引き続き検討を進めてまいります。
令和2年度（2020年度）・令和3年度（2021年度）スケジュール案	1	・深沢地域整備事業、深沢地区の公共施設再編の進行もわかると良いと思います。	関連事業の進行が分かる資料の提示について、関係課と協議してまいります。
	2	・コロナ禍だからこそもっとフットワークを軽くしたスケジュール感で進める必要があったのではないかと感じています。もし、進め方に失敗があったとしても修正しながら会議は行ったほうが良いと考えます。	御意見を踏まえながら、柔軟に進められるよう検討してまいります。

7 その他意見

No.	意見の内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年の水防法改正を受け、令和元年12月末に滑川流域の洪水浸水想定区域図の見直しが行われ、現在地周辺では想定最大規模降雨に対しても浸水が想定されていないことなど、資料が要領よくまとまっていると思います。また他自治体での庁舎整備事例（浸水対策）は参考になりました。 ・想定最大規模での降雨に対応しながら、土木的対応、建築的対応、ソフト的対応をコストも勘案しながら、ベストミックスの解決策で検討する必要があると考えます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「想定外」の災害が続く今日では、防ぎきることを考えるよりも、むしろ万が一の被害発生を想定して計画する方が良いと思います（厚木市の例のように）。 ・昨今の業務オンライン化の流れにおいて、行政が一番環境整備されておらず遅れているという状況が判明しました。DXを支えるデジタルインフラやエネルギーインフラについてもよく検討しておく必要があると思います。 ・スーパーシティへ向けた具体的な検討があるのであれば、その内容もお聞きしたいです。 ・事業手法やスペース等の検討方法を複合的に色々考えられているようで、今後の委員会討議が楽しみです。前向きに、新たな可能性について議論したいと思います。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の委員会で、移転をスムーズに行うためにも現庁舎跡地の有効利用についても市民に周知していくことが大事ではという話があったと思いますが、この点の話し合いも整備委員会で並行してできると良いと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の市の様に、予算を超えてしまう事はしょうがない場合もあると思いますが、市民の皆様に少しでも御理解をいただける様に、予算を超えないための対策や工夫

	を何処かに加えた方が良かったと思います。
5	・未だに、年超過確率 1/1000 程度の降雨について理解されていない方々が居ることを感じ、100%の理解を得ることはできないことを痛感しました。せめて、議員・職員について、賛否は別として、内容について 100%の理解を得て欲しいと思います。
6	・グループインタビューは良いと思います。市庁舎を利用するのは、市民だけでなく、地元団体・事業者、外部からの民間事業者もいます。利用しやすい、居心地の良い市庁舎は市の評価にも繋がると思います。

8 まとめ

本委員会における主な論点や今後の進め方等について了承をいただきました。委員の皆様から頂いた意見を踏まえながら、引き続き検討を進めてまいります。